

●計画の主な事業

良好な歴史的景観を形成 伝統文化の育成支援も

旧矢嶋邸の復原や寺院群を巡る周遊ルートの整備

旧矢嶋邸と郷土館を 一体的に整備

上一之町にある旧矢嶋邸は、江戸時代に高山の文化を担った町年寄の邸宅跡で、当時の土蔵が現存しています。



現在の旧矢嶋邸跡(高い建物)。手前は郷土館

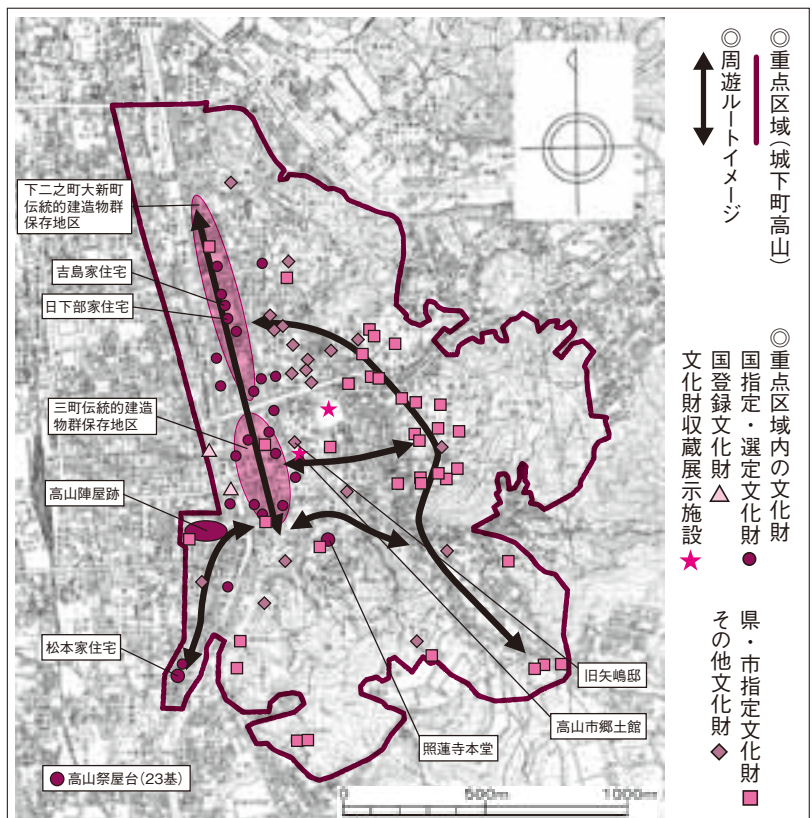
しかし、土蔵以外は鉄骨造の事務所などに改築されているため、歴史的風致に調和したものではありません。そこで土蔵などを活用し、隣接する市郷土館と一体的に整備し、歴史・美術展示施設として歴史的風致の拠点づくりを進めます。

なお、施設整備の設計にあたっては、複数の事業者から提案された企画を審査し、最も優れた提案者と契約するプロポーザル方式で実施します。

人や文化財とふれあう 周遊ルートや遊歩道も

一方、伝統的な生活感に触れながら、歩いて文化財を巡ることができるよう古い町並と東山寺院群を有機的に結ぶ石敷・カラ舗装、休憩ベンチなどを配した周遊ルートを整備します。

重点区域の範囲と周遊ルートイメージ



また、石垣が当時の面影を残し、多くの市民や観光客の憩いの場となっている城山は、石垣保護のための適切な刈り払いや遊歩道の再整備を行います。併せて、祭礼衣装の整備など伝統行事の資質向上にも取り組む予定です。

問合せ先

都市整備課
35-33176
文化財課
35-33156



東山遊歩道